



# 損保ジャパン記念財団 News

●発行：財団法人損保ジャパン記念財団 〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-1-16 損保ジャパン新宿東ビル 11階  
TEL03-5919-0711 FAX03-5919-0710 <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation> Eメール:fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp

## 「NPO法人設立資金」贈呈式が全国で開催される

平成15年度の「NPO法人設立資金助成」は、42都道府県100団体への助成が決定し、贈呈式は環境財団と合同で、7月から全国各地において開催されています。

東京近郊（1都3県、39団体）の助成先を対象とした贈呈式は、7月23日損害保険ジャパン本社ビルにおいて、それ以外は助成先の地区を担当する地区本部または支店主催にて実施されました。お忙しい中、ご協力いただいた皆様には、損保ジャパングループの社会貢献の一翼を担っていただき感謝申し上げます。

なお、全国各地で新聞紙上などに掲載された贈呈式の模様は、4ページ以降に掲載しています。



贈呈式で、「財団設立以来26年間の感謝とお礼、助成を受けられる皆様への激励」の挨拶をされる平野浩志新理事長。

本社ビルで行われた贈呈式には、各方面から140名の方々が出席され、平野理事長から助成先お一人お一人の席にて決定通知書が手渡されました。



## 「自動車購入費助成」の応募締め切る

当財団社会福祉事業の「NPO法人設立資金助成」に次ぐ大きな柱である「自動車購入費助成」の応募を、9月16日に締め切りました。本年度は西日本地区所在の障害者福祉団体を対象に募集したところ、27府県から145件の申し込みがありました。

助成先団体の決定は、10月24日開催予定の「社会福祉助成選考委員会」{委員長：板山賢治氏（社会福祉法人浴風会理事長）}で行われ、1件あたり100万円、総数10件総額1,000万円の助成先が選考されます。

写真は平成14年度助成先「NPO くもり のち晴れ」（宮城県）での贈呈式です。



## 「損保ジャパン記念財団賞」の審査が始まります

わが国における社会福祉学分野の人材育成を目的として、優れた学術文献を表彰する「平成15年度（第5回）損保ジャパン記念財団賞」の候補文献は、著書部門12件、論文部門5件の推薦を受け付けています。（9月20日現在）

推薦は、日本社会福祉学会役員、日本地域福祉学会役員をはじめとする当財団が定めた「指定推薦者」の方々をお願いしています。

本年度の「損保ジャパン記念財団賞」は、10月17日の「第1回審査委員会」{委員長：大橋謙策（日本社会福祉学会会長、日本地域福祉学会会長）}から3回にわたる厳しい審査委員会を経て理事会に薦選され、来年2月の理事会で決定されます。



平成14年度「損保ジャパン記念財団賞」贈呈式  
（受賞された田中・田川両氏と審査委員の皆さん）

なお、6月21日に開催されました「第4回損保ジャパン記念財団賞」受賞者記念講演会の講演録が、10月に【財団叢書 No66】として刊行されます。

「精神障害者の地域生活支援」

田中英樹氏

「高齢者ケアマネジメントにおける倫理的意思決定」田川佳代子氏

希望者には無料で配布させていただきます。

# 公益法人改革の動向 —財団が大きく変わる—

公益法人とは民法第34条に基づく非営利法人であり、財団法人と社団法人に区分され、その数は全国約2万6000。制度創設以来100年以上にわたり大きな改正のなかった制度は、変化する時代にマッチしない内容となり、政府の行政改革の一環として、特殊法人改革に続き現在その改革が進められています。

平成15年6月27日、政府はこれまでの検討を踏まえ「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」を閣議決定しました。その内容は、①主務官庁の許可・監督による現在の制度に代わる新たな非営利法人制度を創設し、準則主義（登記）により簡便に法人設立できるものとする、その具体的内容は今後検討、②平成16年末までを目途に基本的枠組み具体化の上、税制上の措置を検討、17年度末までに法制上の措置を講ずることを目指す、というものです。またその中では、「法人は普遍的な国民の納税義務の下で、一般的に納税義務が課せられており、公益性を有するなど一定の場合に税制上の優遇措置が講じられる」など、この非営利法人は原則課税とも受け取れる表現があり、全体として不明瞭な内容と併せ公益法人関係者を中心に不満の声が上がっています。



「市民シンポジウム」(15.5.17)

さわやか福祉財団の共催により、「『公益』とは何か」と題して「正しい制度改革を進めるための市民シンポジウム」が開催され、当財団の田中専務理事が登壇者として参加しました。

なお、基本方針に基づき、公益法人制度の抜本的改革に関する関係府省連絡協議会が8月1日に発足しました。内閣官房、総務省、法務省、財務省の4府省で構成され、制度改革に関する本格的な検討がこれから始まります。本制度改革は、わが国の非営利活動、公益活動の制度を大きく変える改革であり、公益活動に熱心に取り組む市民活動やNPO、公益法人の声が十分に反映される改革でなければなりません。当財団としても、21世紀のわが国の発展を支える非営利活動・公益活動が更に活性化するような制度改革となるよう、今後とも積極的な取り組みと提言を行ってまいります。

公益法人改革

「社会貢献打撃」訴え

課税案に民間系反発

(朝日新聞 15.5.5)

閣議決定に先立ち、企業の助成財団や民間主導の公益法人はNPO法人とも連携し、政府・与党の制度改革（案）に反発を強め、役所と密着した一部の悪質公益法人の問題を理由に全体への課税を強化すれば、民間の社会貢献活動に打撃を与えると主張し（朝日新聞2003.5.5）、5月17日には、公益法人協会、高齢社会NGO連絡協議会、

## 寄付金の御礼

下記の方から暖かい寄付金をいただきました。ありがとうございました。  
当財団の事業資金として大切に活用させていただきます。(9月24日現在)

長谷川 みちよ 様

(なお、当財団では皆様からのご芳志(寄付)を受け付けております。詳しくは財団までお問い合わせ下さい)



# 「NPO法人設立資金助成」 全国贈呈式特集

平成15年度の「NPO 法人設立資金助成（社会福祉助成）」は、42都道府県100団体への助成が決定しました。

贈呈式は、全国の損保ジャパンの部支店により一斉に開催されました。（環境財団の同趣旨の助成と同時開催）お忙しい中ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

贈呈式の模様が掲載された各地の新聞記事や写真、運営に関わっていただいた方々からの「一言感想」をご紹介します。（9/18現在報告分）

## ■ 新聞掲載記事

No	開催部支店	掲載紙	頁	No	開催部支店	掲載紙	頁
1	青森支店	一言感想	5	21	近畿総務部	日刊自動車新聞	13
2	岩手支店	岩手日報	5	22	近畿総務部	毎日新聞	13
3	山形支店	山形新聞	5	23	近畿総務部	保険毎日新聞	14
4	仙台支店	荘内日報	6	24	近畿総務部	新日本保険新聞	15
5	仙台支店	河北新報	6	25	兵庫業務部	毎日新聞	15
6	福島支店	福島民報	7	26	和歌山支店	わかやま新報	16
7	群馬支店	上毛新聞	7	27	和歌山支店	毎日新聞	17
8	金沢支店	北國新聞	8	28	奈良支店	奈良新聞	17
9	富山支店	北日本新聞	8	29	島根支店	山陰中央新報	18
10	富山支店	富山新聞	9	30	山口支店	山口新聞	18
11	富山支店	北陸中日新聞	9	31	徳島支店	徳島新聞	19
12	山梨支店	山梨日日新聞	9	32	愛媛支店	贈呈式写真	19
13	岐阜支店	岐阜新聞	10	33	高知支店	高知新聞	20
14	松本支店	贈呈式写真	10	34	九州中央支店	佐賀新聞	20
15	松本支店	市民タイムス	10	35	北九州支店	西日本新聞	21
16	静岡支店	静岡新聞	11	36	北九州支店	朝日新聞	21
17	静岡支店	中日新聞	11	37	長崎支店	長崎新聞	22
18	愛知東支店	中部経済新聞	12	38	熊本支店	熊本日日新聞	22
19	名古屋支店	中日新聞	12	39	沖縄支店	沖縄タイムス	22
20	滋賀支店	毎日新聞	12	40	記念財団	保険毎日新聞	23

1. 青森支店一言感想

<鷺澤 直樹 青森支店長 談>

「初めての経験であったが、関係者から非常に感謝されニュースでも取り上げられ、助成の意義を強く感じた。」

<デイセンター花さき村 代表 河原木 幸二 談>

「NPO法人の設立準備の為県庁に複数人で訪問しなければならず、遠方からの交通費の負担など大変である。今回の助成は“助成金の使途を問わない”制度であり、資金に余裕が無い我々にとって大いに助かります。」

<八戸社会福祉法人八戸福祉協議会地域福祉課 浮木 隆課長 談>

「御社の助成金制度は窓口を訪れる社会福祉関係者への対応の際、助成の対象者、対象活動内容が明確で非常に良い制度であり、相手にも説明しやすく我々にとっても大いに助かります。」

小職(教育役)の感想

・マスコミ対応について

当社と取引のあるTV局の営業担当者に連絡したところ快く社会報道部への手配に応じてくれ屋のニュースにオンエアされた。話題性の高い活動だと感じた。

[青森支店] 教育役 小池 清彦 さん

2. 岩手支店 岩手日報 (7/26)

花巻の障害者支援組織に30万円贈る  
 損保ジャパン財団  
 財団法人損保ジャパン  
 記念財団(平野浩志理事  
 長)は二十五日、本年度  
 の民間非営利団体(NP  
 O)法人設立資金として、  
 花巻市の障害者自立支援



サークルせせらぎの会  
 (瀨川春江理事長)に三  
 十万円を贈った。

団体主催者(瀨川春江理事長)が、たいへん熱心に活動内容や将来の抱負を語って下さいました。

福祉の仕事を「辛いけれど世のために我慢してやる」のではなく、「自分も楽しんでやる」と言われたのが、印象的でした。

なお、当地の主力紙である岩手日報に写真入りで掲載されたことに加え、地元テレビ局でもニュースで流してくれ、この活動の社会的意義を知らせることができた。

[北東北業務部 総務課]  
 リーダー(課長) 村田幸平さん

〔瀨川春江理事長◎に目録を手渡す横田龍夫常務執行役員〕

贈呈式は、盛岡市中央通二丁目の損害保険ジャパン盛岡ビルで行われ、同社の横田龍夫常務執行役員が「社会福祉の向上に貢献することを期待します」とあいさつし、瀨川理事長に助成金の目録を手渡した。瀨川理事長

は「今後も地域に重点を置いた取り組みを展開したい」と抱負を述べた。同会は、一九八九年に設立。障害者ら四十二人の会員が、空き缶回収などのリサイクルや、雪下ろしなどのボランティア活動に励んでいる。

3. 山形支店 山形新聞

(8/9)

NPO法人設立  
 助成対象決まる  
 損保ジャパン2財団  
 損保ジャパン記念財団  
 と損保ジャパン環境財団  
 のNPO(民間非営利団  
 体)法人設立資金助成事

業で、県内から、小規模作業所ハーマニーを運営する一歩・一歩の会(山形市、佐藤和江代表)と、エコリング(鶴岡市、綱島不二雄代表)が本年度の助成対象に選ばれ、贈呈式が八日、山形市の損

害保険ジャパン山形支店で行われた。一歩・一歩の会は知的障害者の自立支援組織で五月にNPO法人の認可申請を終えている。エコリングは地域資源循環型

の農業構築を目指し、市民農園の運営を手掛ける。法人認可を取得済み。贈呈式では佐藤代表とエコリングの野尻智事務局長に、五日市橋弘損保ジャパン山形支店長から決定通知書が贈られた。助成はともに三十万円。



## エコリングに助成金

損保ジャパン環境財団  
 (本部・東京都、平野浩  
 志理事長)のNPO法人  
 設立資金助成団体に鶴岡  
 市のエコリング(綱島不  
 二雄代表)が選ばれ、三  
 十万円が交付された。  
 同財団は、地球環境保  
 全活動を展開するNPO  
 の設立を支援するため、  
 五日市支店長(右)から  
 助成金が贈られた

山形市内でこのほど行  
 われた贈呈式で、損保ジ  
 ヤパン山形支店の五日市  
 喬弘支店長からエコリン  
 グの野尻智事務局長に助  
 成金が贈られた。

一九九九(平成十二)年  
 に助成制度を創設。助成  
 を受けた団体は本年度で  
 六十六団体に達した。  
 エコリングは、資源循  
 環型社会の構築を目指し、  
 今年六月に設立された。  
 地域環境に適応した生産  
 システムの企画・立案、  
 調査・研究、子供たちを  
 対象にした環境教育の推  
 進などを掲げて活動して  
 いる。

## 社会福祉へ助成

NPO設立資金  
 2団体に30万円

損保ジャパン記念財団

損害保険ジャパン記念財団  
 (東京はこのほど、特定非営利  
 活動法人(NPO法人)の設立資  
 金を援助する本年度の社会福祉  
 助成(各三十万円)の対象に、法  
 人の認証を申請中の仙台市の精  
 神障害者家族会「みどり会」(柳  
 沼幸男理事長)と、一迫町のみや  
 ぎ身障者サポートクラブ(野沢  
 タキ子代表)を選んだ。  
 仙台市宮城野区の損保ジャパ  
 ン仙台支店で開かれた贈呈式  
 で、篠崎暁支店長が二団体の代  
 表に決定通知を手渡した。  
 みどり会は、市内で精神障害  
 者の作業所やグループホームを  
 運営。サポートクラブは、脳出  
 血などで障害が残った人らを対  
 象にしたデイサービスセンター  
 の開設を進めている。  
 助成は、同財団が安田火災記  
 念財団時代の一九九九年頃から  
 実施している。

贈呈式においてNPOの方達とその  
 取り組みについて色々なお話をお聞き  
 しました。

ボランティアであり、こんなに社会  
 に役立つ取り組みを行っていることに  
 感動を覚えつつ、その設立資金を援助  
 する意義を感じました。

損保ジャパングループとして、意義  
 深い取り組みを行っていると思いま  
 す。

[仙台支店]

支店長 篠崎 暁さん